

財神符

解説・効験・使用方法



正一道教団は漢代に成立したため、この符の構成には漢代の世界観である天・人・地の「三才」思想が反映され、上・中・下の三部に分けられる。

「財神符」は商売繁盛と財運向上を目的としている。この符は上・中・下の三部に分けられ、上部は五行の化炁を表し、太上老君が整えて転化した五行の力を源とした法力と能力を示している。中部と下部は趙元帥が黒い虎に乗っている姿を表している。趙元帥は財運の守護神、黒い虎は法力を行使する虎爺である。



本圖出自《三教搜神源流大全》。本圖為原圖之鏡像。



五行化炁

この符号は太上老君によって転化された木火土金水の五行の化炁を表し、符の効力の源を示している。

また、『黄帝内经』素問の生氣通天論に「人、五行の気を稟(受)け生ず」とあるが、身体の五行の炁にはしばしば偏りや過不足

が生ずる。そのため、修煉の要諦として『靈宝無量度人上品妙経』五行備足生靈壽域品に「五行備え足れば、則ち氣運平正たり。氣運平正たれば、人に天傷無く、各々その天年を全うするを得る。」とあるように、太上老君が精煉・転化した五行の炁について言及し、修煉によって身体の五行の炁の不足を補い、不均衡が正されるとする。

武財神趙元帥

趙元帥とは天師道三十六元帥の一柱で、俗に姓を趙、名を光明とし、功績が称えられて公明の名が賜われたことから「趙公明」と称される。祖天師張道陵が大丹の修煉を行っていた時、趙元帥は「正一玄壇元帥」として祖天師を守護し、祖天師は彼を弟子として受け入れた。祖天師の昇天後も教団を守護し、玄壇四大元帥の一柱とされたことから「趙玄壇」とも称される。また、法器として鉄鞭と鉄索を持ち、黒い虎に乗る姿から「黒虎玄壇」とも称される。



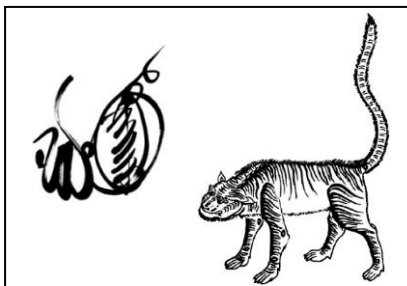
趙元帥は玉皇大帝から公正に天下の財源を掌るよう命を受け、天上の「督財府」中大元帥に任命されたことから、民間では「財神爺」の俗称で親しまれている。他にも「中路武財神」とも称され、他の財運の守護神である「招宝天尊蕭升」「納珍天尊曹寶」「招財使者陳九公」「利市仙官姚少司」と共に「五路武財神」と総称されることもある。

趙元帥は三十六天官の首領としても封じられ、主に福・禄・寿・喜から成る四部の天官を掌る。

符の中部に描かれている縦棒(|)は趙元帥の官帽を示す。二点と横棒(—)は趙元帥の頭・首・肩を、頭部のはらい(/)は法器の鐵鞭を示す。

各々の丸は金銭を表し、雲のように金銭が湧き出る様子と天官がもたらした財宝を表している。

虎爺



符の下半部には虎爺の頭・身体・尾が描かれている。古くから虎は魔除けの役割があるとされ、後漢の応劭

『風俗通義』祀典の桃梗筆茭画虎に、「虎は陽物にして百獣の長なり。能く搏執し鋭きを挫き、鬼魅を噬み食らう。」とあり、さらに虎に乗る夢は夢占いで富貴の予兆であるとす。このような虎の特性は、魔を驅除する武神と財運の守護神を兼ねた趙元帥の役割と一致する。

趙元帥の乗る虎は「黒虎応願大神劉忠」と称し、祖天師が乗っていた虎でもあ

本圖出自《三寶太監西洋記》



り、趙元帥を補佐とされ、一般に「虎爺」と呼ばれる。



虎爺の頭には目と鼻が描かれており、左目は『易経』坎卦(☵)中爻の陽を表す反時計回りの円として、右目は離卦(☲)

中爻の陰を表す時計回りの円として表される。両者が合わさることで「水火既濟」の卦が成り立ち、成功の象徴とする。



「陽平治都功印」・「天師」印

天師

符の印章は非常に重要で、印章の無い、或いは誤った印章を用いた符に効験は無い。正一道教団が主に用いる印章は「陽平治都功印」と「天師印」で、共に祖天師の功績に由来する。「治」は祖天師が正一道教団を創設した際に設けた教区を指し、当初は二十四節気に基づいて二十四の治が設けられ、後に二十八治へと拡大した。中でも陽平治は治の筆頭とされて正一道と天師の拠点となった。治は正一道の教区を示すと共に管理・秩序・文明の意味があり、『三洞珠囊』は『玄都律』を引用し、性・命・魂・神の属する場所とする。太上老君は祖天師に陽平治の統治を命じ、各治に教団幹部を「都功」として派遣した。したがって、「陽平治都功」は陽平治の統治者である祖天師の職名であると共に、祖天師自身と宗教的権力の象徴でもある。符にこれらの印章を用いることで、天師が効験を付与したことを示している。

「財神符」効験

この符には商売繁盛と財運向上の効験がある。また、趙元帥には「快財を催す」眷

れがあるため、他人に貸した金銭が迅速に戻るよう願うこともできる。

ただし、趙元帥は公正な取引による蓄財を掌ることを忘れてはならない。金銭は使っても再び集まり、得ることができることから、趙元帥に蓄財への執着心はない。そのため、誠心・正行・道徳・善行を保つ者の願いが受け入れられる。

趙元帥は「正財」「命中の財」を掌るともされ、『玄壇趙元帥財神經』に富貴・貧窮には前世の因があるとされ、「今世に富貴なれば須らく善を行うべし。善事を做さざれば保つこと成らず。今世に貧賤なれば須らく命を安んずるべし。勤儉にして家を持たば善因を植う。」とある。符を持つ者が孝を尽くし善を行い、公平さと正義心を持って趙元帥の精神に沿うことで、符の力が発揮される助けとなる。

「財神符」使用方法・禁忌

商店や会社の社長室・会議室、あるいは自宅の神卓・応接間・金庫の上の壁面に貼るか掛ける。符を使わなくなった時は金紙と共に焚く。

趙元帥は勸善懲惡の職責を担っており、「但、至公至正の事有りて、以って神に対し言うべき者、之を禱らば不如意なること無し。もし非枉不正の事を以って之を禱らば、神必ず譴めを加う。」「財宝悪人に付し作さず。」としているため、詐欺・悪徳商法や賭博・パチンコ・宝くじ等の賭け事を願ってはならない。

2020/10/8

正一嗣漢張天師府
第六十五代天師張意將



彰化縣芬園鄉彰南路五段 888 號
彰化 TEL:049-2511199 台北 TEL: 02-28366519
網址: www.cts65.org

